

コロナ禍におけるコミュニティスクールの現状と展望について

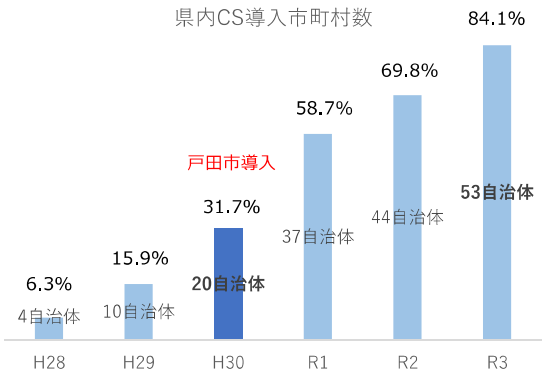
戸田市教育委員会学務課

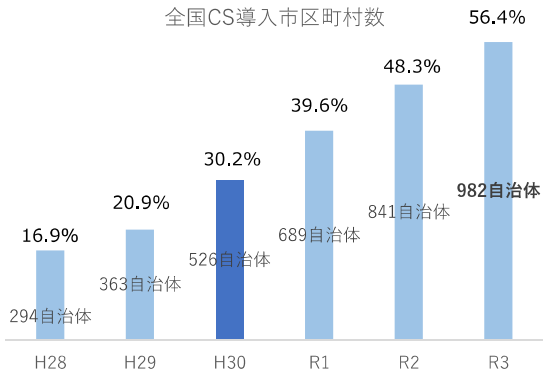
①コミュニティ・スクールの導入状況について

本市は平成30年度より市内全校で学校運営協議会制度を導入

県内、全国共に導入自治体数は年々増加

ただし、本市とは異なり域内の一部の学校のみで導入している自治体も多い





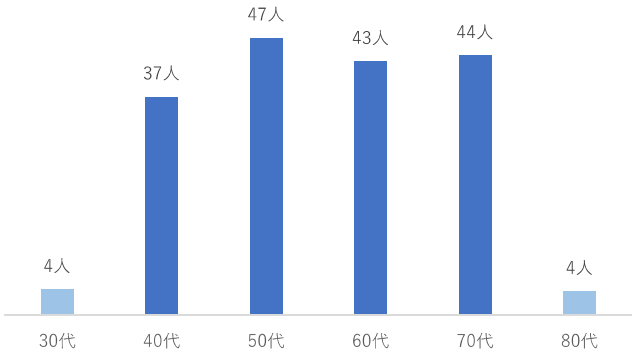
【以上、文科省及び総務省のホームページ掲載データをもとに作成】

②学校運営協議会委員について

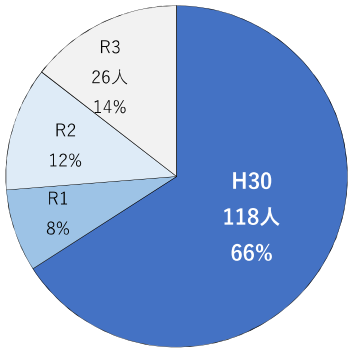
30代から80代まで幅広い世代で構成

学校運営協議会制度立ち上げ時からの再任委員の割合が最も多い

学校運営協議会委員の年代別内訳（R3、N=179）



委員の着任始期（R3、N=179）

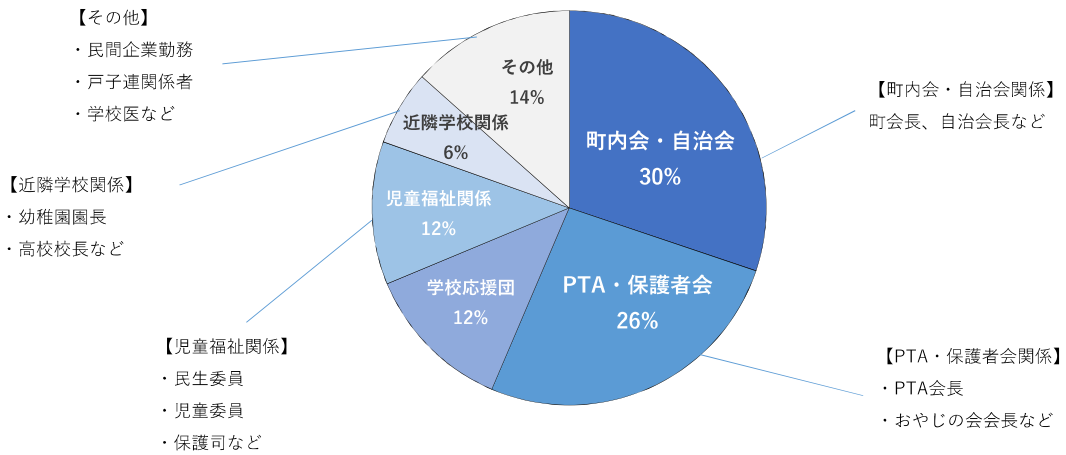


【以上、学務課調べ】

②学校運営協議会委員について

委員の構成比は、町内会等関係者及び児童生徒の保護者の割合が高い

学校運営協議会委員の構成員の内訳（R3、N=179）



【以上、学務課調べ】

③これまでの教育委員会の取組

教職員の理解を深めるとともに、

委員の資質向上を図るための研修等を定期的に実施

年度	研修会名称	対象者
平成30年度	コミュニティ・スクール研修会（講義）	各学校管理職、各協議会委員1名ずつ
	コミュニティ・スクール視察研修会（現地視察）	各学校管理職、各協議会委員1名ずつ
	コミュニティ・スクール全体研修会（熟議・講演）	各学校管理職、各協議会委員1名ずつ
令和元年度	新任管理職等研修会（講義）	新任の管理職
令和2年度	コミュニティ・スクール全体研修会（事例発表）	各学校管理職、各協議会委員1名ずつ
令和3年度	新任委員・管理職等を対象とした研修会（講義）	新任協議会委員、新任の管理職

④コロナ禍における学校運営協議会の実施状況

R元年度末及びR2年度当初は中止や書面開催を余儀なくされたものの・・・

・オンライン会議システムを活用した協議会の開催

・オンライン授業参観

・臨時休業中・学校再開に向けて学校運営協議会で協議

（学校運営協議会で何ができるのか）

コロナ禍でも積極的に学校運営協議会が活動

	H30	R1(H31)	R2
平均開催回数	5.0回	5.4回	4.4回

【出所：学務課調べ】

④コロナ禍における学校運営協議会の実施状況

戸田第一小学校学校運営協議会の取組①

「危機の時こそ学校運営協議会では？」をキャッチフレーズ

5月下旬に学校再開・分散登下校に向けて
地域・保護者で協力できることを洗い出し



密を避けつつ
分散登校に際し登下校の見守り活動を実施

④コロナ禍における学校運営協議会の実施状況

戸田第一小学校の学校運営協議会の取組②

8月下旬から
対面・オンラインを選択し
本格的にハイブリッド型で実施
委員の多くは自宅等から協議会に参加



学校再開後の状況を踏まえ
学校運営協議会で何ができるのか
熟議を実施

⑤戸田市における学校運営協議会の課題

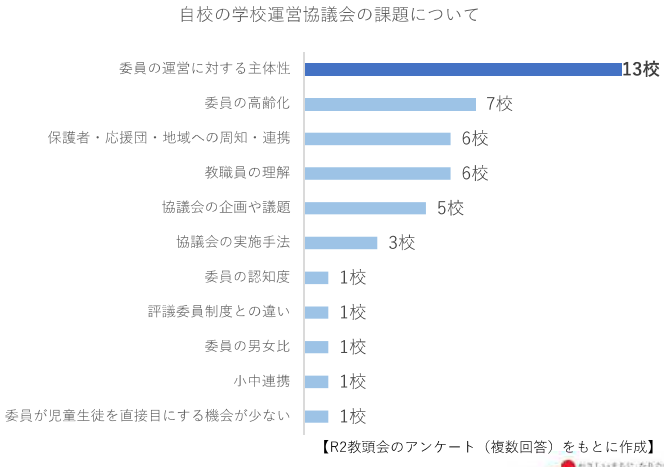
持続可能な体制整備

学校評議員から学校運営協議会委員に移行した方々の参加意識

令和3年度委員のうち、約7割が学校運営協議会立ち上げ時からの再任

委員の固定化が進むと協議会が活性化しない

新陳代謝を促すとともに組織的かつ継続的な体制構築が必要



【R2教頭会のアンケート（複数回答）をもとに作成】

⑥今後の学校運営協議会の展望

規則改正

委員の再任回数の上限を設定

戸田市CSディレクターの活用と新任委員・管理職等へのフォローアップ

委員の交代や新たな管理職の着任の際に研修会を実施

事例発表等を通じてGood Practiceの共有と市内全体の底上げ

各協議会の自立自走に向けて伴走支援



【戸田市CSディレクター福田晴一氏】